

川上村 消防ポンプ操法 ・ラッパ吹奏大会

4月28日(金)

大会結果
自動車ポンプ優勝 御所平分団
小型ポンプ優勝 居倉分団

「自分たちの村は、自分たちで守る」の精神で、それぞれの職業を持つたわら日夜地域の消防活動に従事している消防団員。操法大会は、日ごろの訓練の成果を披露・実演することにより、消防操法技術の向上と士気高揚を図り、地域防災体制の強化に役立てることを目的としています。今年も4年ぶりの開催となりました。

秋山 小型 ポンプ



コロナ禍で3年間行われていなかった村の操法大会が今年開催され、私も選手として参加しました。限られた練習時間の中で、分団の団員同士が年齢関係なく力を合わせて団結する姿を見て、自分も団員の皆さんに支えられて実のある練習ができたので、大会当日は感謝の気持ちを第一に臨みました。結果は悔しさとうれしさが半々でしたが、何より選手として初めて大会に出られたことがうれしかったです。今回の大会や練習で学んだことを今後の消防団活動にも活かしたいです。

大深山 小型 ポンプ



今回自分は可搬(小型ポンプ)の選手に選ばれました。消防に入団してからコロナ禍もあり、操法は自分にとって初めてで、最初は自分に務まるだろうかと不安でいっぱいでした。練習を始めてみて大変だったことは、ひとつひとつの細かい動作です。教えてもらういろいろな動作をすぐに忘れてしまうことがあり、覚えるのが大変でした。操法の中に全力で走る動作がありますが、大人になってからあまりしてこなかったので、慣れていなくて練習中に軽いケガをすることもありました。そんな中、いつも先輩方に細かく丁寧に教えていただき、励ましてもらい、自分でも何回もフォームの確認をして、本番までに自分なりに納得のいく形に持っていかたと感じています。本番の大会では、すごい緊張もあり十分に練習の成果を出せずに反省するところもありました。今回の操法の練習や大会を通して、操法の知識が身についただけでなく、コミュニケーション力や以前より笑顔を出せるようになり、自分の内面でも成長できた部分があったのではないかと感じました。

こちらもおススメ!

ハヤブサ 消防団

(池井戸潤/集英社)



東京から父の故郷の山間部に移り住んだ主人公のミステリー作家。誘いを断りきれずやむなく消防団に入り、地

元の人たちと関わりを持っていく。そんな中、連続放火事件が起こり、静かだった町に不穏な影が……。7月からTVドラマも放送される注目のミステリー。田舎あるある、消防団あるあるも満喫できる(!?)。川上村図書館にもあるので、ぜひ一読を!

教育委員会 だより

常楽院山岳信仰関連諸像として、令和4年9月28日付で、村指定の文化財(村有形文化財)に指定されました。この諸像は、秋山に平成30年6月、小諸から譲り受けた金峰山常楽院の役行者像など5基です。こ

れらは、桃山時代から江戸時代前期ごろに作成されたもので、梓久保や川端下で金山が盛んに開発されていたころと一致します。その当時の慶長18年(1613)に小諸の市町に下ったものが、再び川上村の地に戻ってきたもので、当時の信仰や金山開発、さらには、川上村の歴史を紐解く貴重なものです。地元でも施設や像自体のクリーニングなど、保存に尽力されています。



クライム オン
Climb on!!
2023

in OGAWAYAMA

5月27日(土) ~ 28日(日)



アウトドア雑誌「ピークス」「フィールドライフ」「ランドネ」が企画・運営を行うアウトドアクライミングイベントが、廻り目平キャンプ場をメイン会場に行われ、県内外からたくさんの方が訪れていました。

豪華講師陣による初めての岩登りレッスン

「日本代表」や「世界の山を股にかける」プロによるクライミングやボルダリングレッスンなど、18の体験プログラムがありました。超お手軽な参加料金で、クライミングシューズやヘルメットなどのギアも貸してもらえるので、初めてでも大丈夫。



MAMMUTのプロボルダー
杉本 怜さん

杉本怜さんの初心者向けボルダリングレッスンでは、一見取りつくシマのなさそうな岩でも、どこに手をかけ、足をかけて登るのか、ひとりずつサポートしながら教えてくれました。外岩は初めてという男性も、高い岩を登り切り「気持ちいいです！」。



アウトドアを満喫できる企画もいっぱい

岩を登るほかにも、ショップやフードブース、料理教室、ナイトパーティーなど、アウトドアを満喫できる企画が盛りだくさん！料理教室に参加した村内の方は「キャンプで大荷物で大変なイメージでしたが、少ない道具で外でも気軽に料理ができることに驚きました。彩りもよくおいしくできました」と満悦。「破れでも修繕して長く大事に着よう」というパタゴニアらしいメッセージのあるブースも素敵でした。

▼ギアはフィッティングして貸し出し。



▼予約制で服やザックなども修繕。



▲ローストビーフのトルティーヤ。

川上村の子どもたち向けのプログララムも

川上村の子どもたち向けの無料ボルダリングレッスンもあり、2日間で14名が参加しました。5000円の村民優待料金で参加できる一般の講座にも、5名が参加しました。「登れたときの達成感や、アドバイスし合いながらみんなで登っていくのがとても楽しかったです。プロの人が登る姿はかっこよかった。県外からたくさんの方が川上村の岩に登るために来ることにびっくりし、うれしく思いました」と感想もいただきました。本当に、こんなに魅力的な場所に住んでいる幸せを、村のたくさんの方と共有したいと思いました。



写真：太田 孝則 Ota Takanori / 宇佐美 博之 Hiroyuki Usami

夢みるレタス オカリナ コンサート

in 川上村



「オカリナなかまドリームレタス」のみなさん。前列中央が花田さん。

4月29日(土)、文化センターうぐいすホールで、埼玉県のオカリナ愛好家グループ「オカリナなかまドリームレタス」によるコンサートが開催されました。タイトル「夢みるレタス」は川上村のレタス畑からイメージをふくらませて作られた曲です。川上村からも6名のコーラス愛好者の方が参加し、心温まる交流のステージとなりました。

川上のみなさんとの さらなる交流を

私たちは、埼玉県在住のオカリナ愛好家のグループです。メンバーのオカリナ歴は2年〜20年以上と幅広く、年に数回オカリナ喫茶で集い、練習や演奏を楽しんでいます。

2017年に川上村で合宿を行ったのがきっかけで「夢みるレタス」の曲が生まれました。「いつかこの曲をゆかりのある川上村で披露したい」という作曲家である私の夢を、仲間の皆さんも共有し、応援してくれました。2020年に一度、川上村でのコンサートに向け、実行委員会を立ち上げ、会場の下見などしましたが、まもなくコロナ禍となり敢え無く断念。

2022年秋に東京のとあるオカリナコンサートで「夢みるレタス」を発表する機会を得て、「機は熟した」と感じ、4月末に川上村でのコンサートを計画しました。今回が初めての大きなコンサートです。「夢みるレタス」を川上村に届けたい思いから、グループ名も「ドリームレタス」にしました。地元のコラスグループの方と交流することで、少しでも知ってもらいたいと連絡をさせてもらいましたが、4月末の川上村はすでに農繁期。個人的に6名の方が参加してくださいました。一緒に「夢みるレタス」を歌えたことは、コンサートの中でもより素敵な一場面になったと思います。

川上村の参加者の声

コンサートに来場の方が喜んでくださった様子は参加メンバーにも伝わり、「ぜひ1回で終わらせずに今後も続けていきたい」と声が出ています。せっかくなので縁ですのでコンサートだけではなく、オカリナのワークショップなど、直接地域のみなさんとふれあえるものも取り入れられるといいと考えています。

明るく、かわいく、そして癒しのコンサートでした。オカリナの透明な音色は琴線に触れ、とくに「夕焼け小焼け」などの唱歌はノスタルジックで泣けました。風と土が水を誘った……。農閑期にもっとたくさんのみなさんに聴いてほしいと心から思いました。

井出 智代



コンサートの様子は、動画投稿サイト YouTube「夢みるレタス」in 川上村 交流うた〜かわさいコーラス♪で見られます。



千曲川の源流オアシス化を目指して

南佐久南部漁業協同組合理事 高見澤 正一郎

南佐久南部漁業協同組合では毎年ニジマスの放流を行っていません。

一昨年までは8月のお盆に実施していましたが、川上村はこの時期野菜出荷の最盛期であること、また台風シーズンでもあることから、昨年より5月のゴールデンウィーク、子どもの日に実施することになりました。場所も、梓山からアクセスのよい御所平・男橋に変更しました。「ここならニジマスの放流だけでなく子どもたちが魚のつかみ取りもできるといいで



すね」との要望があり、昨年は男橋の工事をしていた業者様のご協力をいただいて、男橋での第一回ニジマス放流・つかみ取りを開催することができました。

村民の皆様や組合員の評判もよく、子どもたちからも「川で遊ぶ機会がなかった」ので、とてもうれしかった」との感想もあり、今年第二回を開催しました。用意したニジマスは、つかみ取り用10kg、放流用70kg。昨年は男橋工事業者様につかみ取り用の池を掘っていただきましたが、工事が終わった今年はそういうわけにもいきません。そこで、10m×6mでコンテナを並べ、ブルーシートを敷き詰めてプールのような池を造りました。魚もよく見えるし、小さいお子さんも安全に参加でき、片づけも簡単！ 我ながら名案だったと思います。

当日は天候に恵まれ、大勢の釣り人やつかみ取りの子どもたちの参加があり、大いに賑わいました。釣り人は「けっこう大漁だった」、子どもたちは「来年もやりたい」



などの感想を届けてくれました。ただ、今回開催するにあたり、コロナ禍により魚の確保が厳しいこと、また、つかみ取りを行うための資金の確保（今年も御所平林野保護組合様からのご寄付）など、来年へ向けて課題が残りました。新緑の季節、新しい男橋下の千曲川で楽しい思い出作りができたのではないかと思います。

動物バトンリレー

由井 敏教さん 宅 (御所平)

■ クック 5歳
(サイベリアン オス)

環境の変化に慣れない性格ですが、5歳になりやっとな慣れてきてくれました。



令和5年
3月生まれの
赤ちゃんをご紹介

川上村の赤ちゃん New Face ニューフェイス

すくすく
元気いっぱい

すくすく成長中!



居倉 第2子 遠藤 汐梨 ちゃん
きより
3月27日
(両親：智仁、幸恵)

パパ、ママから一言

春に花を咲かせる"梨"の漢字を入れました。最近はニコリと笑い、おしゃべりもするようになりました! お兄ちゃんとなかよく元気に育ってほしいです!

戸籍の窓口

5月1日～5月31日受付

お誕生おめでとうございます

日向 翠愛 大幸
美和子

土屋 美琴 昭男
美晴

「結婚おめでとうございませ
末永くお幸せに」

高見澤 柊成 御所平
渡邊 心暖 新潟県

内堀 舜 御代田町
小林 由布 梓山

由井 徹 大深山
吉田 菜都美 東京都

由井 直樹 御所平
川上 琴子 小海町

和久 滉矢 御所平
福島 滯 佐久市

岩水 玄 原
川住 亜美 山梨県

お悔やみ申し上げます

由井 隆彦 78歳 御所平

原 幸枝 78歳 居倉

島崎 京子 91歳 居倉

※この欄は川上村に住民登録さ
れている方を掲載しています。

公民館の動き

5月25日 館報編集委員会

5月27日 歩け歩けの集い



一喜一憂

この号より編集委員として参加させていただくことになりました。川上生まれに携わる仕事をしていながら、村内の発行物に参加させていただくことは初めてでもわくわくしています。

初取材は「歩け歩けの集い」。たくさんの方々の方たちと小海線の旅、そして乙女駅から小諸の懐古園までの道のりを歩きました。公民館長から「ぜひマスクを取って自然を満喫してください」とのお話があり、マスクを外しての徒歩の気持ちよかったこと、数年前までは当たり前だった新緑の空気をしみじみと吸いながら歩いた道中は一生の思い出になると思います。

実は「歩け歩けの集い」は今回が初めての参加でした。そして編集委員になり、これが半世紀近く前から行われているイベントだと知りました。子どものころからインドアな私も編集委員に参加させていただくことで新たな知識や体験をたくさん得られそうです。これからよろしくお願ひいたします!

編集委員(M)

【村勢】

総面積 209.61km² 総人口 3,521人
世帯数 1,182戸 男 1,819人 女 1,702人 (5月31日現在)